

コード	403040201
記入日	H22.5.20

事務事業途中評価表

課コード	108
課名	まちづくり推進課
課長名	近藤 恭明
担当者	坂下 幸喜

作成年度	平成 22 年度
------	----------

評価対象事業名称	奈良尾温泉センター管理運営費
----------	----------------

事業種類	単年度繰返事業
事業期間	平成 17 年度 ~ 平成 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け			
政策コード	4	政策名称	自立する産業の育成、雇用の確保	款コード	7		
施策コード	403	施策名称	商工業の振興	項コード	1		
基本事業コード	40304	基本事業名称	観光商業の振興	目コード	4		
事務事業コード	4030402	事務事業名称	奈良尾温泉センター管理費	細目コード	146		
関連計画			法令・条例規則等	新上五島町奈良尾温泉センター条例及び施行規則			

計画(PLAN) ※単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。

対象:誰、何を対象にしているのか		対象指標:対象の大きさを表す指標						
(対象1)	住民	(対象指標1)	23,719人(H21.4.1)					
(対象2)	奈良尾温泉センター	(対象指標2)	1箇所					
事業の概要:具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標:事務事業の活動量を表す指標・達成率 (上段:全体、下段:評価年度)						
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)		
*****	・住民の健康増進や観光客の増加のために施設の管理運営を行った。 保守点検回数 33回 修繕件数 16件	*****	*****	*****	営業収入額 2,031千円 ÷維持管理経費13,302千円	*****		
①		営業収入額	2,031千円	15.3%		平成21年度		
(達成率分析)		営業収入2,031千円に対し、運営経費が13,302千円かかっており、結果11,271千円の一般財源負担となっている。						
②		保守点検回数	33回	100%	保守点検回数33÷計画した保守点検回数33	*****	平成21年度	
(達成率分析)	利用者に不都合がないよう、また危険物を扱うため管理運営上、保守点検は確実にしている。							
目的:何をしたいのか		成果指標:目的の達成度を表す指標・達成率 (上段:全体、下段:評価年度)						
町民及び観光客に温泉を利用した保養と健康増進の場を提供し、町民の福祉の向上及び観光の振興に寄与することを目的としている。		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)		
		*****	*****	*****	利用者数19,664人÷計画した利用者数18,500人	*****		
		①	利用者数	19,664人	106.3%		平成21年度	
		(達成率分析)	利用者目標を18,500人計画していたが、上回る利用があった。					
②	営業した日数	336日	92.10%	営業した日数336日÷営業すべき日数365日	*****	平成21年度		
(達成率分析)	施設修繕のため、29日休館した。							

実施(DO) ※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		平成20年度以前	平成21年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画	
活動指標	① 千円	10,559	10,559	8,528	2,031	2,031					
	② 回	117	117	84	33	33					
成果指標	① 人	59,517	61,259	41,595	18,500	19,664					
	② 日	1,095	1,022	686	365	336					
総事業費C(A+B)	千円	72,953	72,696	58,694	14,259	14,002					
直接事業費A	千円	69,453	69,196	55,894	13,559	13,302					
人件費B	千円	3,500	3,500	2,800	700	700					
内訳	従事職員数	人	0.5	0.5	0.4	0.1					
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円									
	県補助金	千円									
	起債	千円									
	その他	千円									
一般財源	千円	72,953	72,696	58,694	14,259	14,002					

評価(CHECK) ※理由の欄は必ず記載すること。

妥当性	町が税金を投入して行う必要がありますか。	●ある ●ない	理由	住民の福祉向上や観光資源の活用として必要である。
	時代情勢や環境の変化などを考慮しても、事業を行う必要がありますか。	●ある ●ない	理由	現在宿泊部門は廃止し、観光客の利用も少なくなったが、古くから奈良尾地区住民の憩いの場として定着しており、愛着がとて深い施設である。
	事業の対象・目的は適切ですか。	●適切 ●不適切	理由	住民の福祉向上が目的であり適切である。
有効性	現在の事業の進め方が期待されるような成果をもたらしていますか。	●いる ●いない	理由	あくまでもこの施設は住民の福祉施設であり、採算性を重要視するものではない。
	成果を向上させる余地はありますか。	●ある ●ない	理由	別の場所の温泉の利用方法が示されれば、より良い事業展開が図られるものと思われる。
	事業を行わない場合の影響はありますか。	●ある ●ない	理由	福祉の後退、地域サービスの低下につながる。
	類似事業との整理統合はできませんか。	できる ●できない	理由	類似事業なし。
効率性	直接事業費を削減することはできませんか。	できる ●できない	理由	サービスの質を落とすことは、更なる客離れを招くものと思われる。
	人件費を削減することはできませんか。	できる ●できない	理由	最小の人員で行っており削減できない。
	受益者負担は適正ですか。	●はい ●いいえ	理由	条例に沿っており、適正である。

改善(ACTION)

改善策	1次評価	妥当性	現在のところ計画を見直す必要はない。
		有効性	老朽化が進んでおり、新しい温泉の有効利用を考える時期に来ている。
		効率性	現在のところ計画を見直す必要は無い。
		課題に向けた改善策	施設の老朽化が著しいため、施設の改修等のを計画的に行い利用者の利便性を確保していく。
	2次評価	妥当性	新温泉の利活用とあわせ、センター施設の今後の運用のあり方を検討すること。
		有効性	老朽化も進行しているが、適正な施設の維持・管理に勤め、補修等は計画的に行うこと。
		効率性	適正な維持管理に努め、一般財源の節減に努めること。

住民等の意見	
町の対応	

今後の事業の方向性	1次	2次	3次		1次	2次	3次	
	●			このまま事業を継続				類似事業と整理統合
		●		事業内容を見直して事業を継続				事業の休止
				事業費を見直して事業を継続				事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。